

中小企業ぎふ

Vol.667

2019年7月25日 隔月25日発行

岐阜県中小企業団体中央会

岐阜市数田南5丁目14番53号
OKBふれあい会館9階

☎ 058-277-1100

HP <http://www.chuokai-gifu.or.jp>

連携の力で無限の可能性にチャレンジ!

～中央会は、組合・中小企業の挑戦を応援します～



クローズアップ企業 2～3

岐阜食品青果協同組合 組合員
「スカイショップムトウ」
～需要沸騰「移動販売」の先駆者～

組合紹介 4～5

美濃和紙ブランド協同組合
～ブランド力向上に取り組む組合が電力事業にも参入～

組合等の活動 6～8

- ・特集「組合の地域貢献に関わる取り組み」
- ・岐阜県土木建築解体事業協同組合 全国総会を岐阜で開催
- ・岐阜県自動車車体整備事業協同組合 静岡県から視察受入
- ・岐阜県鐵構工業協同組合青年部 マナー研修を実施
- ・3組合が消費税率引き上げと軽減税率制度講習会を開催

中央会の活動 9～12

- ・通常総会を開催・中央会日誌
- ・新役員・表彰受賞者のご紹介
- ・組合事務局代表者懇談会・ブロック事務局代表者会議を開催
- ・各団体の活動報告

組合事務局キラキラ職員レター 13

- ・岐阜県印刷工業組合
- ・サムソンビューティチェーン協同組合

組合士の問題に挑戦! 13

景況レポート 14～15

全国の先進組合事例 16

- ・大分県コンクリート製品協同組合
- ・協業組合笠岡車検センター

インフォメーション 17

- ・叙勲・県功労者
- ・読者プレゼントコーナー
～アンケートに答えてプレゼントをもらおう!～
- ・★新企画★職員コラム

暑中見舞広告 18～22

クローズアップ企業

岐阜食品青果協同組合 組合員

スカイショップムトウ

♪～安心、安全な生鮮食品のムトウ～♪という音楽にのって、とある住宅地の一角に車がとまると、あつという間にそこが市場に早変わり。どこからとなく、人がわらわらと集まってきて、「この前のスイカ美味しかった。今日もある?」「これどうやって食べたら美味しい?」「今日は腰の調子が良いわあ」など会話が次々と飛び交う。

今回は、こんな賑やかな風景を生み出して37年、安心・安全で美味しい生鮮食品を移動販売車でご近所まで届けられており、組合の理事長もつとめる「スカイショップムトウ」武藤富良代表にお話を伺ってきました。



《企業概要》 住所：岐阜市薬師町27
電話：058-273-0713 FAX：058-374-0622
代表 武藤 富良
主な事業：生鮮食品の移動販売

◎御社のこれまでの沿革についてご紹介ください。

◆ 生鮮食品の移動販売を始めて37年



武藤富良代表

野菜や果物、肉、魚などの生鮮食品の移動販売を始めて37年目になります。岐阜市内で1日約10カ所を移動販売車でまわっています。場所はお客様のご依頼によりご自宅前、公民館やお寺の駐車場など様々です。最近では一人暮らしの高齢者向けにお惣菜やお寿司などが人気のほか、依頼のあった日用品も扱っています。

車は冷蔵庫や手洗い設備も搭載した特注です。たくさん種類の商品を乗せ、お客様に実際に手に取って選んでもらえるようになっています。

お客様はお買い物を楽しむだけでなく、近所の方や私たち夫婦に会いに来てくださる感覚で自然と交流ができる場となっているので、お買い物にいられて黙って帰る方はいません。

◆ 苦しい時代を乗り越えて、現在は移動販売の依頼が殺到

高校卒業後、岐阜市内のスーパーや八百屋を経て移動販売を始めました。きっかけは、八百屋時代に地元である郡上の方から大雪で食品が手に入らないと連絡を受けて、大量の生鮮食品をトラックに積んでかけつけたところ、飛ぶように売れた経験から。「困っているところに必要なものを届けると喜んでいただける」という体験をし、移動販売一本でやっていくことを決めました。当時は周りにスーパーが誕生し始めた頃でしたが、まだ大家族が多く、すぐ近所で買い物ができるサービスは大変喜ばれました。

しかし、消費税や核家族化などの影響で苦しい時期を迎えます。私と同時期に創業した他の移動販売車は、全員やめていかれました。

その後、「お買い物難民」という言葉が誕生したことからもうかがえるとおり、お買い物にいけない高齢者のために近所まで来てほしいという依頼が増えてきました。特にここ数年で急増し、地域包括センターや自治会などからもお声がけいただき、全部のご依頼にはお応えできていない状況です。

ただ、一つ気を付けていることは、依頼があっても近くに八百屋さんがある場合はお断りしています。昔ながらの八百屋さんを大切にしてほしいという思いからです。

◎御社の特徴や方針を教えてください。

◆ 家の目の前まで“お店ごと”お届け

特徴は何といっても、お客様宅のすぐ目の前までお店ごとお届けできることです。今は通信販売などで様々なものが自宅に直接届く時代ですが、移動販売には商品を見て、手に取って、選ぶ、という買い物の楽しさがあります。それが自宅から歩いてすぐの場所でできるのが移動販売の魅力です。

◆ 「安かったよ」より「美味しかったよ」と言われたい

商品は「新鮮なもの」「国産のもの」にこだわって、私自身が選んでいます。同じ種類の野菜や果物であったとしても“今日美味しいもの”は毎日変わります。お客様には「安かったよ」という声よりも「美味しかったよ」と言われたいのです。良いものを仕入れるためには、毎日が勉強です。何十年もこの業界に身をおいていますが、市場には八百屋、果物屋、肉屋、魚屋とそれぞれにプロがいるので、日々学ぶことばかりです。

また仕入れには季節感を大切にしています。“初もの”は絶対と言ってよいほど仕入れています。時には「目の保養」としてシャインマスカットなどの高級フルーツを扱うこともあります。

定価では売れないので最終的にはお値打ち品になるのですが…、儲けようと思っていないのです。お客様に喜んでいただくことが一番です。



組合概要

岐阜食品青果協同組合

理事長 武藤 富良
〒500-8263 岐阜市茜部新所2丁目5番地
岐阜市中央卸売市場内

組合員数：229人

主な事業：共同精算事業、仲卸共同精算事業、
学校給食納入事業、共同購買事業 等



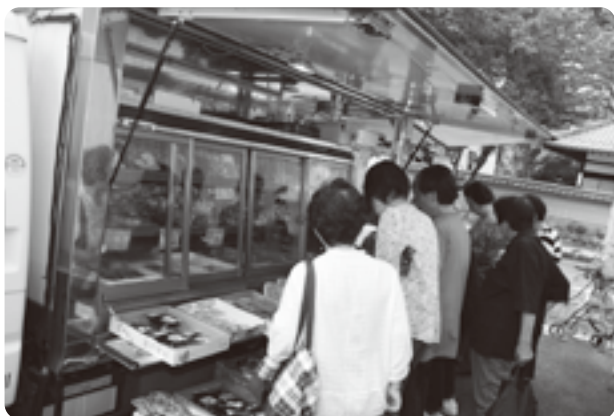
岐阜食品青果協同組合(通称:岐青協)は、岐阜の台所「岐阜市中央卸売市場」を利用する青果・鮮魚総合食品の販売又は加工を行う事業者により昭和45年に設立され、来年には設立50年を迎えます。

組合員は設立時の920人から現在229人まで減少しましたが、総代制により卸売市場の共同精算を柱とした事業を行っています。

毎年11月には「市場まつり」として、一般の方に市場を解放して楽しんでもらうお祭があり、当組合も協賛しています。また、市立岐阜商業高校からの依頼により、同校が授業の一環として行う「市岐商デパート」に協力し、商売の楽しさを伝える出前授業を行っています。

この他、学校給食に使われる青果を仕入れて納入する「学校給食納入事業」を行っています。

こうした活動を通じて、岐阜のみなさんの食を支えています。



◎経営をしていく上で大切にしていることを教えてください。

◆「武藤さんという人間に惚れて買っている」

「信用」を大切にしています。移動販売には信用がないと続けることができません。そして信用をしていただくには長年のお付き合いが必要です。移動販売は屋外のため天候の影響を受けますが、どんなに大雨でも台風がきていても、必ず約束した場所に時間通りに行くことを心がけています。

有難いことに、私たちの人となりを知って何十年と通ってくださるお客様がたくさんいます。その中で、創業してから37年間、2日に1回必ず購入をしてくださるお客様がいます。実は移動販売を初めてすぐの頃、なかなか軌道にのらず仕入れた食べ物が売れ残って廃棄することもあり、辛くてもうやめてしまおうかと思ったことがありました。その時にこのお客様が「同じ食品を他でも買うことはできる。でも、私は武藤さんという人間に惚れてここで買っている」と伝えてくださったのです。この言葉があったから、これまで続けることができたと思っています。

私たちはお客様のためにできることは何かを常に考えていますが、長く商いを続ける中では、折に触れてお客様から助けていただくことが多くあり、こういった関係に心から感謝しています。

◎組合に期待することは何ですか？

◆ 設立50周年。組合員に貢献できることは何か

組合は来年の50周年を迎えるにあたり、実行委員会により

準備を進めているところです。組合設立当初の組合員数は920人でしたが、現在は229人に減少、そして組合員の年齢は平均70歳を超えています。

近年、組合員が営む青果物小売店を取り巻く環境は、コンビニ、ドラッグストアの急増、人口減、食料消費量の減など厳しさを増す一方で、新たに組合として取り組むことは難しい状況にあります。理事長として今求められていることは、現在の状態を少しでも長く維持すること、そして残っている組合員に対し貢献できることだと考えます。長年頑張っている組合員に対する功労金などの仕組み等を通じて、少しでも組合員への貢献につながるよう願っています。

◎最後に御社の今後の展望、抱負をお聞かせください。

◆ 困っている人は多い。移動販売を始める人集まれ!

移動販売のニーズは急増しており、依頼を受けても行きたくないけれど行けない場所がたくさんあります。困っている方はたくさんいらっしゃるのですが、私たちだけでは対応できないため、同じように移動販売を始める方が増えることを願っています。こうした商売はお客様との信頼関係が何より大切であるため、継続することは簡単ではありませんが、もし移動販売を始めたいという方がいらっしゃれば大歓迎です。

おかげさまで常連さんに囲まれ楽しく仕事をしていますので、これからも健康に気を付けて、現在の移動販売を少しでも長く続けていきたいです。



ここ20年は夫婦で

組合 紹介

こんな活動をしています！

本会は、多種多様な業種・業態の組合等が会員となっており、これが本会の特徴でもあります。各組合がその特徴を活かし日々活動を続けていますので、皆様の仲間を紹介します。



美濃和紙ブランド協同組合

- 理事長 辻 守重
(丸重製紙企業組合 理事顧問、岐阜県紙業組合連合会 会長
 本会 副会長)
- 組合員数 40人
- 設立年月 平成19年 8月
- 住 所 美濃市蔵生1851-3
- T E L 0575-34-8278

1,300年の歴史をもつ美濃和紙ブランドを守り、さらにその価値を向上するため、伝統的手法を受け継ぐ手すき職人と、工業化により地域の発展を支えた機械すき企業の双方が団結して立ち上げた「美濃和紙ブランド協同組合」を訪問し、辻守重理事長に組合の歴史や活動、今後の展望などを伺いました。

◆組合の歴史・活動

■手すき職人と機械すき企業が集結



辻理事長

～美濃和紙のネクタイにご注目ください～

当組合は岐阜県紙業連合会を母体として、紙といってもその種類は多岐にわたっており、現在連合会傘下には美濃手すき和紙協同組合、家庭紙工業会、旧特殊紙部会と旧加工紙工業会が所属しています。同連合会は、昭和36年に岐阜県工業試験場紙研究部内に設置されたもので、伝統地場産業の手すき和紙に加えて、機械抄紙、機能付与対応の加工紙、再生家庭紙などの技術研究により、紙業は県の7大産業の一つとして発展を遂げました。しかし、海外勢の台頭や大手の参入等により紙業全体が苦しい時代を迎えます。このままでは日本の素材そのものが消え去り、作り手さえも消滅してしまうほどの危機感がありました。そこで、地域団体商標を取得して高品質な「美濃和紙ブランド」を守り、さらにその価値を向上させることを目指し、同連合会の中から趣旨に賛同した手すき和紙職人や機械すき企業、紙工業者らが集結して「美濃和紙ブランド協同組合」を設立しました。

■「地域団体商標登録」を取得

平成21年に地域団体商標として「美濃和紙」が登録されました。現在組合員13社が地域団体商標を使用しています。また、特別使用者という商品の加工事業者の登録制度は17社が利用しています。組合として商標の維持管理と

ともにJAPANブランド育成事業を活用した展示会出展等でPRをしています。今年度は地域団体商標の登録から有効期限である10年が経過し更新の手続きが完了したところで、今後も商標の適切な維持管理及び利用促進を行っていきます。

■「ユネスコ世界無形文化遺産」を契機に「新美濃和紙ブランド」が誕生

平成26年に本美濃紙を含む「日本の手漉和紙技術」がユネスコ無形文化遺産に登録されるという大きな出来事がありました。美濃和紙がこれまで以上に注目を集める契機となる一方、ユネスコでの指定は伝統的な手法による手すき和紙に限られており、市場性を合わせ持つ商品開発の必要性を感じていました。

そこで、平成27年から岐阜県や美濃市の協力も得て「美濃和紙ブランド価値向上研究会」を立ち上げました。美濃和紙の価値をさらに向上することを目的に幾多の検討を重ねた結果、“新美濃和紙ブランド”として「美濃和紙」を原料や製法などの厳しい基準により「本美濃紙」「美濃手すき和紙」「美濃機械すき和紙」に区分して組合が認定する制度を構築しました。平成29年にはこれら4つの商標登録が完了し、これまでの地域団体商標に加えて、組合の2枚看板となりました。商標登録の認定については「認定委員会」を開催し審査を行っており、現在18社、282点の登録商品が誕生しています。こちらも展示会出展等によりPRに努めるほか、新美濃和紙ブランド専用のホームページを新設し、情報発信に努めています。

また、共同販売事業として市の施設である美濃和紙の里会館の売店で組合員の商品を販売しています。



新たに「美濃和紙」「本美濃紙」「美濃手すき和紙」「美濃機械すき和紙」の4つを商標登録

■「小売電気事業者の代理店に関する業務」をスタート

こうした活動に加えて、平成30年に新規事業「小売り電気事業者の代理店業務に関する事業」を追加しました。これは小売り電気事業者「みの市民エネルギー(株)」と業務提携契約を締結し、同社が取り扱う新電力に係る商品及びサービスを組合員に斡旋し、手数料収入を得る事業です。本事業による収入は紙の原料となる楮の生産などに活用する計画であり、今後は新たな形で組合員に貢献できるものと期待しています。

◆組合が目指す方向性とは

■法人格のメリットを訴求

組合として美濃和紙ブランドのPRをする一方で、組合員の取引力強化が課題です。

辻理事長は「岐阜県紙業組合連合会は長らく任意団体として活動していますが、美濃和紙ブランド協同組合を設立し法人格を得たことから、経済事業を実施することも補助金を活用することも可能になりました。しかしながら、まだ組合員には法人格としてのメリットが浸透していないと感じています。“事業協同組合だからできること”をもっと組合員に訴求することで、各組合員からの積極的な提案につなげていきたいです。もちろん、組合員は組合事業に頼るだけでなく、自助努力が必要です。現在若手に今後の方向性を検討する委員会を任せています。時代はどん

どん変化しており、次世代の新しい発想による活躍を期待しています」と語られました。



組合員の商品を扱う美濃和紙の里会館売店にて
辻理事長(左)と浦崎事務局長(右)

業界豆知識

最高峰の美濃和紙として認定されるには？「新美濃和紙ブランドの認定基準」

	 [本紫] 本美濃紙	 [深緑] 美濃手すき和紙	 [朱] 美濃機械すき和紙
産地	美濃市で漉かれたもの	美濃市で漉かれたもの	岐阜市、美濃市、関市で抄かれたもの
生産者	本美濃紙保存会員	美濃手すき和紙協同組合員	美濃和紙ブランド協同組合員
原料	大子那須楮(白皮)のみ使用	国内産原料のみ使用	非木材繊維(楮・三椏・雁皮・マニラ麻・亜麻等)を含む
製法	本美濃紙の指定要件を満たす伝統的な製法で製造	流し漉きにより製造	手すき和紙に近い光沢、風合い、強靭さが出せるように抄紙機で製造
品質証明	統一品質表示の記載・添付、原料トレーサビリティの実施	統一品質表示の記載・添付	統一品質表示の記載・添付
環境	地球環境、健康に配慮した素材や原料等の使用及び製造方法で製造	地球環境、健康に配慮した素材や原料等の使用及び製造方法で製造	地球環境、健康に配慮した素材や原料等の使用及び製造方法で製造
原紙使用	使用する紙は100%本美濃紙とする(包装、説明書等を除く)	使用する紙のうち、認定基準に適合した手すき和紙の占める割合が最も大きいこと	使用する紙のうち、認定基準に適合した手すき和紙の占める割合が最も大きいこと

※組合紹介への掲載希望がございましたら、企画振興課までお知らせください。

特集 組合の「地域貢献」に関わる取り組み

全国中央会が実施した「平成30年度中小企業組合のあり方研究会報告書」において、組合に新たに期待されている目的・役割の中に『地域貢献』が挙げられています。

同報告書では中小企業組合の新たな方向性・可能性の一つとして「組合、組合員が地域社会の一員として、地域の課題解決をサポートすることや災害などから地域を守り、地域機能を維持・継続できるよう社会的責任（CSR）を果たすことは、自らの経済的基盤、生活基盤を支えることになる」と提言しています。

そこで今回は、県内組合等の中から積極的に地域貢献活動に取り組んでいる組合を紹介します。今後の組合等の活動の参考にご覧ください。

児童養護施設の内装工事が組合の団結・次世代の育成にもつながる

岐阜県室内装飾事業協同組合（室内装飾用品販売業・屋内装飾工事業）

○どんな活動？…平成18年度から障がい者福祉施設等、平成27年度からは児童養護施設等を対象にカーテン交換やクロス貼替などの内装工事をボランティアで行っている。組合事業として開始し、現在は青年部が主体。施工は青年部員に加えて理事長を筆頭に役員、担当支部長等約15人が担当。組合員自らが汗をかくことをモットーとしている。資材メーカーの協力もある。



○きっかけは？…組合として地域に貢献できることはないか検討するにあたり、組合の地区が県域であることから県に相談をしたところ、困っている施設が多くあることを知り、専門分野である内装工事でお手伝いするようになった。当初は社会福祉課、現在は子ども家庭課との連携により実施している。

○活動を通じて…事前に施設の方、県担当者、組合の3者でお困りごとを整理し、施工内容の打ち合わせを行い、プロとして安全に長く使ってもらえるような施工を心がけている。施設に訪問すると実際に困っておられる様子が痛切に感じられる中、施設の方に大変喜んでいただけるだけでなく、この活動を通して組合の団結につながっている。また、同活動に参加した青年部員は、組合を背負う立場となって活躍してくれている。歴代の理事長が大切にしている活動であり、今後も受け継いでいく。

おもてなしの心が岐阜の文化が広がり、組合のPRにもつながる

岐阜県中古自動車販売商工組合（中古自動車販売業）

○どんな活動？…青年部の活動として、毎年4月に岐阜市の鵜飼観覧船を清掃している。今年で7年目。鵜飼観覧船清掃は解禁日の約1カ月前から行われる春の風物詩で、船の床板を外し、膝まで川につかって船体に付着した水ごけを落とす作業をは見た目以上にハードであるが、初年度は3隻、現在は7隻清掃できるようになった。



○きっかけは？…青年部が主催するオークションには県外からも多数参加者があり、岐阜の鵜飼鑑賞でおもてなしをしている。お客様に気持ちよく楽しんでほしいという思いがきっかけで始めたが、岐阜の伝統的な文化に貢献し、その文化を全国に発信していきたいといった思いもあり活動を継続している。

○活動を通じて…背中に「JU岐阜」と入ったオレンジ色のジャンパーを着て作業を行っている。組合の認知度アップに課題がある中、新聞などのメディアに取り上げてもらうこともあり、組合のPRが図れている。

子どもに作陶指導・地域の方によるこんでもらうイベントで組合の絆を深める

土岐津陶磁器工業協同組合(陶磁器製造業)

○どんな活動?…毎年秋に土岐川周辺であかりのイベント「あかりの夕べ」を組合で主催。会場には青年部が作成した灯籠のほか、地元の幼稚園、小中学校の子どもらが組合員の作陶指導のもと作成した灯籠やランプシェードがずらり並び、地域の方に幻想的な風景を楽しんでもらっている。コンサートなども企画。

今年で15回目を迎え、年々来場者数は増加している。5年ほど前からは近隣の泉陶磁器工業(協)と妻木陶磁器工業(協)にも呼び掛け、各組合が子どもたちに作陶指導をした作品も展示している。



○きっかけは?…組合員数の減少が続く中、組合活性化を目指してスタート。地元向けの活動ができればと考え、企画当初から地域の方に楽しんでもらうことを第一の目的としている。

○活動を通じて…子どもの作品を家族で見に来ていただくなどで地域の方が喜んでくれるだけでなく、子どもに土に触ってもらうことで地場産業に親しむ機会となっており、陶磁器のまちとしてのPRもできている。灯籠づくりをした子どもが成長し、組合員として参加しており非常に感慨深い。また、組合行事が少なくなる中、イベントにより組合員間のコミュニケーションを図ることで組合の絆を深めている。

この他にも多くの組合が様々な地域貢献活動を行っています

○地域の課題解決のための事業を推進

※P11事務局代表者懇談会でも紹介しています

・丸重製紙企業組合(機械抄特殊和紙製造業)

SDGs(持続可能な開発目標)を経営に取り入れ、和紙原料となる楮づくり、安心安全な野菜づくり、地域電力会社の設立、古民家再生による宿泊施設など「自律型・循環型の地域経済モデル」に向けた取り組みを“連携”により実施している。

・奥美濃カレー協同組合(飲食店、宿泊業、食料品製造・卸業等)

地元高校の授業に協力し、イベント出展時の経理、設置、PR、運営などを高校生に体験してもらうことを通じて、地域の人材育成・人材定着に繋げている。

○専門分野で地域の安全を守る

・岐阜県電気工事業工業組合(電気工事業)

全国で実施される「電気使用安全月間」にあわせて、支部ごとに活動を実施。一人宅住まいの高齢者宅を訪問し無料でブレーカーの交換を行う、公共施設の外灯を清掃、保育園の電気設備点検、安全啓発のチラシ配布など、電気を安全に使用してもらうために取り組んでいる。

・関市管工事協同組合(管工事業)

「水道週間」に関市内の小中学校・保育園の水道の無料点検を実施し、子どもが安全に水道を使えるようにしている。

※他地区の管工事協同組合でも「水道週間」に合わせて公園や消火栓の点検などをボランティアで実施

○地域の清掃活動

・赤帽岐阜県軽自動車運送協同組合(運送業)

組合員が組合事務所周辺(岐南町)を赤帽ロードとして毎年清掃を行っている。地域の方に“赤帽”を知ってもらうきっかけとなっている。

・岐阜モノづくり協同組合(異業種・実習生受入)

組合員企業の従業員及び外国人技能実習生ら約100人で毎年関川(関市)の清掃を行っている。地域の方が実習生に親しむ機会となっている。

○寄付・寄贈

・岐阜県製麺協同組合(麺類製造業)

11月11日の「めんの日」に平成15年度から毎年県内の社会福祉施設へゆで麺の寄贈をしている。昨年度は障がい者施設及び児童養護施設計30施設に2,250食を寄贈し、美味しい麺を味わってもらった。

・飛騨美濃鶏ちゃん協同組合(鶏肉の加工又は鶏肉加工品の販売)

鶏ちゃんを毎年クリスマスに知的障がい児施設に寄贈し、地元の味を楽しんでもらっている。

「解体工事元年」を祝した全国総会を岐阜で開催

岐阜県土木建築解体事業協同組合（木村順一理事長）

岐阜県土木建築解体事業（協）が加入する（公社）全国解体工事業団体連合会「第8回通常総会」が6月7日に長良川国際会議場で開催され、全国から総勢320名が出席した。

同連合会は、全国の解体工事業者で組織する協同組合・協会41団体等で構成されている。岐阜県においては、昭和59年に協同組合を設立して以来、共同受注事業や教育情報事業を中心に業界の活性化のため幅広く事業を展開してきた。平成28年6月1日の建設業法の改正により建設業許可に係る業種区分に解体工事業が新設され、経過措置期間の3年を経て、いよいよ独立した業種として新たな時代を迎えた記念すべき時において、今年と同連合会の通常総会が岐阜県で開催されることから、岐阜県の協同組合の組合員、職員が全国からの出席者を盛大にもてなした。

総会終了後に岐阜県土木建築解体事業（協）主催で和太鼓記念公演が行われたほか、都ホテル岐阜長良川にて懇親会が開催された。

懇親会の開会にあたり木村理事長は「解体工事業許可制度が令和元年6月1日から完全施行となり、本年は解体工事元年とも言える年である。専門業団体として社会的な責任の一翼を担い、社会や行政、市民からの期待に応え、より一層、業界の発展に努めたい」とあいさつし、古田肇岐阜県知事、野田聖子衆議院議員、柴橋正直岐阜市長より祝辞が述べられた。その後、出席者同士で情報交換や交流を図り、盛会のうちに終わった。



あいさつする木村理事長

先進的な組合活動として静岡県から視察受入

岐阜県自動車車体整備協同組合（平野将告理事長）

岐阜県自動車車体整備（協）は、6月4日に静岡県自動車車体整備（協）からの視察を受け入れ、先進的な組合活動として「消費税転嫁カルテルの届出」と「リサイクル部品一括お問合せシステム」の紹介を行った。

「消費税転嫁カルテルの届出」について、消費税転嫁カルテルの届出を平成28年8月に行ったことが組合員の円滑な消費税転嫁に繋がっている事を紹介し、届出の際に行った事前準備、スケジュール等について説明された。また、10月の消費税増税前に転嫁カルテルの届出を行うことを推奨した。

「リサイクル部品一括お問合せシステム」について、本システムは競争見積となることに同意したリサイクル部品販売を行う賛助会員を取引相手として実施している。組合員は中古バンパー等の見積依頼を行うことで、競争原理が働き従来より安価な見積・発注に繋がっていること、また、賛助会員への代金支払いを組合が一括することで手数料を得ていることが説明された。

平成26年より運用を開始し、当初の利用者は理事のみで取扱高も僅かであったが、現在は、当初の30倍程の売上となり、組合の収益の柱となっており、今後、取扱品目の追加、調達先のエリア拡大等も検討していることが説明された。

平野理事長は「こうした交流を通じて事業の活性化に努めていきたい」と述べた。



左から2番目：平野理事長
右から2番目：静岡県土屋理事長

青年部会で経営者向けマナー研修を実施

岐阜県鐵構工業協同組合青年部会（岩井康志会長）

岐阜県鐵構工業（協）青年部会は、経営者向けのビジネスマナーを学ぶ研修会を6月1日に岐阜キャッスルインで開催し、部会員22名が参加した。

青年部会員は、現在もしくは将来的に会社を代表する立場の者が多く、今後会社を運営していく上で遭遇するであろう客先訪問や接待、宴席といったビジネスシーンにおいて、経営者としてのビジネスマナーを学ぶことを通じて商売や会社経営の発展へとつなげるための研修会を開催した。講師には、Secretarial Office T-thank代表 伊藤友美氏を迎えた。伊藤氏は、「ビジネスマナーは相手に不愉快な思いをさせない、迷惑をかけないために必要不可欠なスキル。評価されても指摘されないところがビジネスマナーの怖さ」と述べ、接待におけるお店選びや身だしなみ、当日の準備のほか、会社訪問時に気を付けることなど、細部にわたるポイントを説明した。

参加者からは「これまで気にしていなかったこともありハッとしました。自身の言動が会社の人格をイメージさせることを自覚し今後活かしたい」といった声が聞かれた。



講師の伊藤氏

3組合が消費税率引上げと軽減税率制度について講習会を実施

美濃織物工業協同組合（廣瀬昇理事長）、大垣食品商業協同組合（高橋剛理事長）
協同組合岐阜県鍼灸師マッサージ師会（山田敏治理事長）

3組合が中央会の「消費税軽減税率対策窓口相談等事業」を活用し、消費税率引上げと軽減税率制度についての講習会を開催し、軽減税率制度の留意点や転嫁のための取り組みが紹介された。

美濃織物工業（協）と大垣食品商業（協）は1回、（協）岐阜県鍼灸師マッサージ師会はブロックごとに計4回開催した。講師は税理士の森靖氏や岡本美穂氏、名古屋国税局消費課の実務指導専門官に依頼。

消費税軽減税率制度は、飲食料品等の取扱いがない事業者も仕入れや経費に軽減税率の対象品目があれば、区分して記帳や税率計算を行う必要があり、全ての事業者に影響がある。

例として組合の会議にかかる費用は、これまで「会議費」としていたものを「お弁当・お茶代は8%、コピー代は10%」と税率ごとに区分して記載すること、ただし「ホテルの会議室で食事をする場合は10%」になることなどが説明された。また、免税事業者であっても必ず引上げ分の2%を上乘せするよう呼びかけられた。

実施組合からは「軽減税率の影響はあまりないと思っていたが、業種を問わず対策が必要であることがわかった」「中央会事業の活用により組合負担ゼロで開催できてよかった」といった声が聞かれた。



講師の岡本税理士

中央会「第64回通常総会」を開催

中央会は、『第64回通常総会』を6月14日（金）に都ホテル岐阜長良川で開催し、多数の来賓と会員ら合わせて約180人が出席した。

開会にあたり、今井会長が「スローガン『**連携の力で無限の可能性にチャレンジ!**』のもと、5つの重点目標①中小企業間の連携促進、②人材確保支援、③女性の活躍推進、④ものづくり補助金、⑤若手経営者の育成と事業承継を中心に取り組む。皆様には中央会を大いに活用いただくとともに、ご指導ご支援をお願いしたい」とあいさつした。

次いで、来賓を代表して中部経済産業局産業部長 岡本正弘様、岐阜県議会議長 小川恒雄様、岐阜県商工労働部次長 川本敏様から祝辞が述べられた。

議案の審議では今井会長が議長を務め、平成30年度事業報告書及び収支決算書等、令和元年度事業計画案及び収支予算案などが原案どおり承認されたほか、役員への補充選挙では新たに理事5名が選任された。続いて、優良組合、組合功労者、組合優良職員などに対する岐阜県中央会会長表彰を行った。（新役員・表彰受賞者は次頁のとおり）

また、総会後には懇親会を開催し、会員ら約100名が参加して相互の親睦を図った。

～来賓祝辞の要旨～

【中部経済産業局産業部長 岡本正弘様】

国では事業承継、再編統合による新陳代謝の推進、生産性向上、働き方改革、人手不足対策等に重点的に取り組む。組合という連携組織としての強みを生かして支援施策をご活用いただき課題解決に繋げていただきたい。複数税率へ早期対応、キャッシュレス推進についても協力をお願いする。

【岐阜県議会議長 小川恒雄様】

平成28年3月に岐阜県中小企業・小規模企業振興条例を議員発案により制定した。今後も中小企業・小規模企業の振興に努める。

【岐阜県商工労働部次長 川本敏様】

県では「人づくり」「活力づくり」をテーマとして地方創生戦略に取り組んでいる。皆様には次の3つをぜひご活用されたい。①人材採用支援として「中小企業総合人材確保センター」を開設しており、外国人の採用についても相談も開始した。②県試験研究機関を関市に集約し「岐阜県産業技術総合センター」としてリニューアルした。県内企業の技術研究開発に寄与し、幅広い課題にもワンストップで対応できる窓口となるよう心がけている。③「第四次産業革命」への対応として岐阜県IoTコンソーシアム等を通じてIoTやAIの導入支援を行っている。



今井会長あいさつ



中央会会長表彰 代表者が登壇

中央会日誌

(5月21日～7月20日)

【中央会事業】

- | | | | |
|-------|-----------------------------|-------|------------------------------|
| 6月 1日 | 組合等支援事業(対象:岐阜県鐵構工業協同組合) | 6月 5日 | 北方領土返還要求運動岐阜県会議事理事会 |
| 11日 | 組合等支援事業(対象:高山米穀協業組合) | 6月 7日 | エコアクション21地域運営委員会 |
| 12日 | 青年中央会総会 | | 東海財務局岐阜財務事務所 岐阜県金融懇談会 |
| | 組合等支援事業(対象:岐阜県眼鏡商業協同組合) | 10日 | 岐阜県インターンシップ推進協議会総会 |
| 14日 | 中央会総会 | 14日 | 岐阜新卒者等人材確保推進本部会議・若年者雇用問題検討会議 |
| 17日 | レディースクラブ総会 | 18日 | 岐阜産業会館定時評議員会 |
| 19日 | 組合士協会総会 | 24日 | 岐阜県職業能力開発協会理事会・総会 |
| | 組合等支援事業(対象:岐阜県既製服縫製工業組合) | 25日 | 岐阜県産業経済振興センター評議員会 |
| 26日 | 岐阜県建設関連業団体部会定例会 | 27日 | 都道府県中央会事務局代表者会議 |
| 7月 9日 | 組合等支援事業(対象:岐阜県舞台設備管理事業協同組合) | | 若年技能者人材育成支援事業に係る連携推進会議 |
| 11日 | 組合等支援事業(対象:高山米穀協業組合) | 28日 | 全国中央会通常総会 |
| | 組合等支援事業(対象:岐阜県眼鏡商業協同組合) | 7月 2日 | 岐阜県産業人材育成連携推進協議会 |
| 19日 | 組合等支援事業(対象:関工業団地協同組合) | 3日 | 「清流の国ぎふ」づくり推進県民会議 |

【出席会議等】

- | | | | |
|-------|--------------------------------------|-----|-----------------------|
| 5月21日 | 岐阜県IoTコンソーシアム総会 | 5日 | 岐阜地方最低賃金審議会・委員研修会 |
| 24日 | 岐阜県就労支援事業者機構理事会 | 9日 | ねんりんぴっく岐阜2020実行委員会総会 |
| 29日 | 岐阜県第4次産業革命プロジェクト推進のためのスマート産業支援機関連携会議 | 10日 | 岐阜県地域人材育成協議会 |
| 30日 | 岐阜県福祉友愛アリーナ竣工式 | 11日 | 産業雇用安定センター・経済団体等情報交換会 |
| 6月 5日 | 岐阜県産業技術総合センター開所記念式典 | 17日 | 東海・北陸ブロック中央会事務局代表者会議 |
| | | 18日 | 清流の国ぎふ女性の活躍推進会議 |
| | | 19日 | 最低賃金審議会委員意見交換会 |

～新たに選任された役員のご紹介～ (順不同・敬称略)

役名	氏名	所属団体
理事	尾関 郁夫	岐阜県製麺協同組合
理事	後藤 佳政	岐阜県砕石工業組合
理事	竹腰 大介	岐阜県高圧ガス協同組合
理事	田中 肇	岐阜県プラスチック工業組合
理事	横山 隆仁	岐阜県中古自動車販売商工組合

～表彰受賞者のご紹介～ (順不同・敬称略)

岐阜県中小企業団体中央会会長表彰

【優良組合・3組合】	
岐阜中央生コンクリート協同組合 (理事長 雁部 繁夫)	
下呂温泉開発協同組合 (理事長 瀧 多賀男)	
サムソンプレーチチェーン協同組合 (理事長 友松 幹雄)	
【組合功労者・25名】	
水野 辰博	(川崎岐阜協同組合)
市川 孝之	(岐阜県医薬品小売商業組合)
則竹 晃司	(岐阜県貨物運送協同組合連合会)
西垣 浩志	(岐阜県コンクリート製品協同組合)
坪井 利郎	(岐阜県自動車車体整備協同組合)
武藤 勝也	(岐阜県自動車車体整備協同組合)
青木 一郎	(岐阜県鐵構工業協同組合)
尾沼 明	(岐阜県土木建築解体事業協同組合)
後藤 公嘉	(岐阜県生コンクリート工業組合)
武藤 司	(岐阜県生コンクリート工業組合)
下野 泰輔	(岐阜県プラスチック工業組合)
洞田 浩司	(岐阜県プラスチック工業組合)
栗本 森義	(岐阜県米菓工業協同組合)
勝股 輝久	(岐阜県窯業原料協同組合)
水野 清司	(岐阜県窯業原料協同組合)
片岡 紀生	(岐阜電気工事協同組合)
森下 光	(郡上建設業協同組合)
倉林 雅人	(高山管設備工業協同組合)
松井 清之	(高山管設備工業協同組合)
村井 繁喜	(飛騨高山旅館ホテル協同組合)
村山 英春	(飛騨高山旅館ホテル協同組合)
三輪 義弘	(飛騨生コンクリート協同組合)
森林 三樹夫	(飛騨のさるぼぼ製造協同組合)
清水 博孝	(飛騨美濃鶏ちゃん協同組合)
小瀧 康裕	(美濃タイル商業協同組合)
【組合優良職員・7名】	
足立 佐知子	(川崎岐阜協同組合)
小森 順一郎	(岐阜県米菓工業協同組合)
加藤 桂子	(協同組合郡上エコロジーセンター)
判谷 公子	(協同組合郡上エコロジーセンター)

益田 賢志	(高山管設備工業協同組合)
宮ノ腰 賢次	(高山管設備工業協同組合)
板橋 成行	(東濃ひのき製品流通協同組合)
【優良組合青年部・1青年部】	
岐阜県自動車車体整備協同組合青年部 (部会長 松本 悟)	
【組合青年部役員功労者・5名】	
傍島 聖雄	(川崎岐阜協同組合青年部)
古田 将也	(岐阜県自動車車体整備協同組合青年部会)
多和田 靖也	(岐阜県鐵構工業協同組合青年部会)
深貝 一正	(岐阜県生コンクリート工業組合青年部活動特別委員会)
梅田 浩隆	(岐阜電気工事協同組合青年部)
【青年中央会役員功労者・2名】	
大野 雅尚	(岐阜県中小企業青年中央会 副会長)
宮川 憲市	(岐阜県中小企業青年中央会 監事)
【中央会レディースクラブ役員功労者・2名】	
足立 孝子	(岐阜県中小企業団体中央会レディースクラブ 理事)
小川 のり子	(岐阜県中小企業団体中央会レディースクラブ 理事)
【中央会役員功労者・5名】	
荒川 晶一	(岐阜県管設備工業協同組合 理事長)
林 繁良	(岐阜県中小企業青年中央会 会長)
河口 一	(岐阜県陶磁器工業協同組合連合会 理事長)
雁部 繁夫	(岐阜県生コンクリート工業組合 理事長)
田中 彰	(協同組合岐阜県刃物会館 理事長)
【中央会優良職員・5名】	
窪田 英男	(調査役)
水野 謙二	(指導課 課長)
小林 寛司	(事業推進課 係長)
中林 伸介	(事業推進課 係長)
安田 真也	(事業推進課 係長)

岐阜県中小企業団体中央会会長感謝状

【情報連絡員功労者・2名】	
広瀬 晴康	(大垣市商店街振興組合連合会)
中川 薫	(協同組合下呂ショッピングセンター)

『事務局代表者懇談会』を開催

『組合のPR』『地域貢献』『事務局による活性化』をテーマに組合運営のヒントを探る!

中央会では、7月16日に「事務局代表者懇談会」を開催した。この懇談会は、県内中小企業組合の事務局代表者が集まり、組織や事業運営上の課題等について懇談することにより組合事業及び運営の充実に資することを目的としている。

従来のグループ別懇談会とは異なり、今回は会議室を飛び出して“中小企業組合現場めぐりツアー”と題し、3つのテーマ「組合のPR」「地域貢献」「事務局による活性化」に沿った取り組みを行っている2組合を訪問し、現場の様子を生で見て懇談することによって今後の組合運営のヒントを探った。

ふれあい会館出発

①視察「丸重製紙企業組合」(美濃市)

○辻理事長より取り組みを説明



理事長 辻 晃一氏

丸重製紙(企)では「美濃と和紙を元氣にする」という使命のもと、機械抄き和紙の製造販売を主軸にSDGs

(持続可能な開発目標)をいち早く経営に取り入れ、農業、観光業、エネルギー事業、講演・研修事業等に多方面に展開している。辻理事長は「SDGsを通すと新しい事業がみえてくる。社会・環境問題への取り組みはビジネスチャンス!」と説明。参加者は地域貢献を通じた事業展開について“生の声”を聞くことができた。



○工場見学



辻理事長は毎朝SNS・HP・ブログを更新している。工場見学もSNSからの発信から大きな評判を呼び、現在はJTBのツアーにも組み込まれるほど。「お金のかかる宣

伝はしていない。SNSやプレスリリースなどコストをかけずにできることはたくさんある」と話し、製造工程とともに情報発信についての具体的な取り組みについても紹介された。



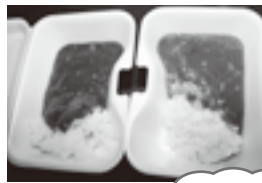
②昼食「奥美濃カレー2種類食べ比べ」



「郡上奥美濃カレー」



アレルギー対応の「郡上奥美濃カレー[A](エース)」



両方美味しい!



③事例紹介「奥美濃カレー協同組合」

(会場:郡上市八幡町 平野本店酒蔵跡)



事務局長 後藤 正和氏

組合では地域団体商標「奥美濃カレー」を登録し、カレーを通じた地域活性化に取り組んでいる。B-1グランプリ出場など

外に出ていく活動を経て、現在はより地元の方に愛されるブランドを目指す方向にシフトし、地元の団体や高校と連携した活動を行っている。また中央会事業を活用し、事務局が中心となってブランドイメージの再構築やホームページ作成による情報発信強化にも取り組んでいる。後藤事務局長は「“奥美濃カレー+〇〇”というプラスアルファによる広がりが大切。こうした広がりによる活動は地域の活性化、そして組合・組合員の発展につながる」と説明。

続いて行われた懇談会では、参加者からも組合の活動や情報発信について紹介され、意見交換を行った。



参加者からは「今回訪問した2組合は異なる業種であるが、地域貢献やPRについて共通するキーワードがたくさんあり大変参考になった」といった声が聞かれた。

「東海・北陸ブロック事務局代表者会議」を開催

「第71回中小企業団体全国大会」(右記参照)で決議する国等への要望に向け、東海・北陸ブロック各県から提出された要望事項を取りまとめるため、7月17日に富山市の立山国際ホテルで「東海・北陸ブロック中央会事務局代表者会議」が開催された。本会からは志村専務理事と水野飛驒支所長兼指導課長が出席し、中小企業組合等からの要望が漏れなく反映されるよう慎重に議論した。

当会議でとりまとめた要望事項は他ブロック分と合わせて全国中央会の専門委員会できりまとめられ、全国大会の決議案として上程される。



事務局代表者が要望事項を検討

「東海・北陸ブロック要望事項」は次号(9/25発行)に掲載予定

「第71回中小企業団体全国大会(鹿児島県)」のご案内

全国の中小企業団体が一堂に会する「第71回中小企業団体全国大会」が今年は鹿児島県で開催されます!

全国約3万組合等の総意を内外に広く表明し、国等に対して中小企業の実情と振興施策を訴え、中小企業の持続的な成長と豊かな地域社会の実現を図ることを目的としています。

多くの組合の役職員、組合員にご参加いただけますようお願いいたします。



【日 時】令和元年11月7日(木)

【場 所】「鹿児島アリーナ」(鹿児島市永吉1-30-1)

【大会参加費】1人 6,000円

【申込方法】本会ホームページ掲載の「参加申込書」にて

【申込締切日】9月6日(金)

【問 合 せ】岐阜県中央会 指導課 TEL058-277-1103

中央会レディースクラブ

(加藤智子会長)

通常総会・女性経営者等支援セミナーを開催



加藤会長が議長を務める

県中小企業団体中央会レディースクラブは、6月17日にホテルグランヴェール岐山で「第20回通常総会」を開催した。上程された議案は原案のとおり可決、承認された。

総会終了後、中央会との共催により「成果が上がる『伝え方』、組織が育つ『会議』のしくみ」をテーマとした女性経営者等支援セミナーを開催し、レディースクラブ会員に加えて組合事務局職員らが参加し、日常業務の改善と人材育成のための具体的な方法について学んだ。

今年も全国フォーラムへの参加や企業視察事業を行う予定です。組合女性部、女性経営者の方の加入をお待ちしております。お気軽にお問い合わせください!(担当:細井)



女性経営者等支援セミナー



テーマ/
「成果が上がる『伝え方』、
組織が育つ『会議』のしくみ」

講師/
株式会社CHEERFUL
代表取締役 沖本るり子氏

【セミナー内容を一部紹介します】

○伝え方について

- ・「言った」「聞いていない」「伝えつもり」等でトラブルになる原因は、話し手が聞き手の聴く力に期待しすぎていることが大きい。言いたいことは濁さず言わないと伝わらない。
- ・伝えているつものミスを無くすためには、はじめに結論を宣言すること(一文で考える)、次に聞き手に受け取る態勢を作らせる(不意打ちを無くす)こと、そして一文一属性を意識して「間」を取ることが重要。

○会議のしくみについて

- ・会議の方法を改革し、会議を人材育成の手段として活用したことにより3年間で離職率が10.15%から1.9%に減少した企業がある。
- ・会議は視点を細かく分解することで「多数の意見が出る会議」「賛否でもめない会議」「脱線しない会議」にすることができ、参加者全員が同じ視点で意見を言うことができるようになる。
- ・具体的には制限時間を設け、案を出す時間、効果を考える時間、リスクを考える時間というように分割して考えること。議題を細かく区切ることで意識が集中し、会議の脱線を防止。また、良い面だけでなくマイナス面を全員で事前に洗い出すことで、会社の損失を未然に防ぐことにも役立つ。
- ・相手にマイナスの感情を与えることなく否定的な意見を伝えたい場合には、意見の提案者である相手に対し、デメリットは何だかと思うか質問し、相手に言わせることで気づかせることができる。

青年中央会

(林繁良会長)

通常総会を開催



総会で林会長があいさつ

県中小企業青年中央会は、6月12日にホテルパークで「第45回通常総会」を開催した。上程された議案は原案のとおり可決、承認された。今年度も引き続き、キャッチフレーズ「Next Stage〜共に進もう次なる時代へ〜」のもと「参加したくなる事業」を計画している。

引き続き開催された懇親会では、各業界の状況や今後の動向等について意見交換するなど、会員相互の親睦を深めた。

今年から青中の担当になりました。一緒に盛り上げていきましょう!会員は随時募集中ですので、ぜひご参加ください!(担当:河田)



県中小企業組合士協会

(市原敬夫会長)

通常総会を開催 新役員・新組合士が誕生



市原会長(中)と新たな組合士認定者

県中小企業組合士協会は、6月19日にホテルパークで「第42回通常総会」を開催し、上程された議案は全て原案のとおり可決、承認された。また、任期満了に伴う役員改選では、市原会長が再任され、副会長には新たに高橋淳氏(岐阜県可児工業団地協同組合)が就任した。長年副会長を務めた小沢氏と藤岡氏は、参与として運営に関わる。

総会終了後には、岐阜県産業技術総合センターの部長研究員兼情報技術部長の平湯氏による「人工知能技術(AI)と産業での活用方法について」をテーマとした研修会を開催した。また、引き続き開催した懇親会では、「中小企業組合士 認定証授与式」を行い、新たに加入した組合士を交えて交流を図った。

今年から組合士協会を担当します。私も実務経験を経て晴れて組合士に認定されました。「1組合1組合士」を目指して組合士検定にチャレンジしましょう!(担当:加藤)



県建設関連業団体部会

(荒川晶一部会長)

定会を開催



定会で各議案を審議

岐阜県建設関連業団体部会は、6月26日にOKBふれあい会館で「第42回定会」を開催した。上程された議案は全て原案のとおり可決、承認された。また、任期満了に伴う役員改選では、荒川部会長が再任された。本部会では県土整備部・都市建設部・商工労働部の3部長に対する要望活動や県議会の各常任委員長を招いての「県官公需フォーラム」などを通じて、官公需の受注機会確保と地元業者への優先発注に向けた取り組みを行う。

引き続き官公需の受注確保と地元業者への優先発注に向けた活動を行います!(担当:松浦)





©岐阜県 清流の国
ぎふ・ミナモト #0682

組合事務局 キラキラ職員レター

組合事務局でキラキラと働いている職員の方を、キラキラした川の水面に住む妖精「ミナモ」が紹介するコーナーです。さわやかな川の流れのように、人々が出会い、絆を深めるきっかけとなることを願っています。



今井 加代さん 岐阜県印刷工業組合
(岐阜市菅生2丁目6番15号)

今まではパートとして働いていましたが、4年前に縁があり印刷工業組合にお世話になることになりました。2年前に先輩が退職されたのを機に自分が正社員となり、パートさんと2人体制で従事しております。少人数なため大変なこともあります。役員や組合員の皆様のご協力のおかげで、厳しくも楽しく仕事をさせていただいております。

組合は、全都道府県に1工組ずつあり、2年に1回「全日本印刷文化典」という大会が各地で開催され、他県の事務局や組合員の方と研修・研鑽、また交流を図ることができるなど今までにない経験をさせていただいております。

趣味はバレーボールで、週1回仲間と汗を流して健康維持に努めています。また、愛犬と山へドライブすることが好きで、雄大な自然の中でマイナスイオンをたくさん浴びリフレッシュしています。

まだ不慣れな事も多々ありますが、持ち前の明るさと元気で、笑顔を絶やさずに、日々の業務に努めていきたいと思っております。



直井 明美さん サムソンビューティチェーン協同組合
(岐阜市金園町1-16)

組合では、理美容業を営む組合員やそのスタッフである理美容師を対象とした教育情報事業を柱として、技術コンテストやトレーニング、表彰、新人研修や合同入社式などを行っています。

組合で働き始めた当初は職業訓練を担当していましたが、組合を取り巻く環境の変化もあり、10年ほど前から事務局1人体制で組合事務全般を担っています。イベントや総会前などで忙しい時期もありますが、組合員さんは美や若さを保つヒケツをたくさん教えてくださるので、キレイにしたいという前向きな気持ちとともに楽しく仕事をしています。

趣味の読書では、美味しそうな料理が登場する本が好きで、最近のお気に入り「ちどり亭へようこそ」です。事務所近く的美殿町エリアには、小説にも出てきそうなお洒落で美味しいお店がありますよ。

理・美容師さんはお客様を美しくするための技術や知識だけでなく、気持ちよく過ごしていただくための自分磨きに日々取り組まれています。そんな組合員さんのために開催する研修は、私の日常においても大変参考になっています。このような環境に感謝し、これからも頑張っていきたいです。

● 組合士の問題に挑戦！ ●

中小企業組合検定は、組合事務局で働く役員が職務を遂行する上で必要な知識に関する試験で、「組合会計」「組合制度」「組合運営」の3科目があります。試験に合格し実務経験を持つ方に、中小企業組合士（通称「組合士」）の称号を与える制度で、毎年12月の第1日曜日に実施しています。（主催：全国中小企業団体中央会 後援：中小企業庁 協力：都道府県中小企業団体中央会）

「中小企業組合検定」の過去問と解答例を掲載します。日ごろの組合運営の参考にしていただくとともに、ぜひ検定にもチャレンジしてください。

平成30年度「組合運営」より抜粋

問 中小企業組合の監事について、今日期待されている役割を400字以内で述べなさい。

(解答例)

中小企業者の相互扶助の精神に基づいて運営されてきた組合制度に関して、近年は組合規模拡大や異業種組合の増加等により、自治運営やガバナンス機能が低下し、さらに共同事業の多様化から、拡大した共済事業が事業運営に支障を来たす事例なども踏まえ、平成18年ならびに19年度に中協法等が改正された。それに伴い、組合の自治運営が効果的に機能するように組合運営全般の規定見直し、また、共済事業もその健全性を確保するために措置を講ずるように改められた。

具体的には、①員外監事制度の導入、②監事の欠格事由と任期変更、③業務監査の取扱い、④監事による理事会議事録の署名、⑤監事に対する損害賠償責任とその免除等が挙げられる。これらの改正により組合運営における監査制度も大幅に強化されていることから、激しさを増す市場競争や法令遵守が求められる経営環境において、監事が果たすべき役割は益々大きくなっている。



景況レポート

令和元年
6月末調査
(前年同月比)

中小企業団体情報連絡員70名
の情報連絡票から

〔I〕6月の特色

- ◆景況感DI値マイナス37 前月比17ポイントの悪化
～3年ぶりにマイナス30台に～
- ◆主要調査項目DI値、全項目において悪化
～1年2か月ぶりに全項目悪化～

〔II〕6月の概況

当月の景気動向を前年同月比の景況感DI値で見ると、好転1、悪化38で、DI値はマイナス37となり、前月のDI値マイナス20に対し、17ポイントの悪化となった。

業種別の景気動向を前年同月比の景況感DI値で見ると、製造業のDI値はマイナス41となり、前月比11ポイントの悪化、非製造業のDI値はマイナス33となり、前月比24ポイントの悪化となった。

なお、回答のあった70業種のうち、前月調査より景況感が改善したとする業種は、製造業においては0業種(前月比-1業種)であり、悪化したとする業種は、菓子、ニット工業、毛織物、タイルの4業種(前月比+2業種)となった。

また、非製造業において改善したとする業種は、電設資材卸、青果販売、建築設計の3業種(前月比-1業種)であり、悪化したとする業種は、機械・工具販売、生花販売、高山市商店街、長良川畔旅館、高山旅館、クリーニング、軽運送業、貸植木業の8業種(前月比+6業種)となった。

主要な調査項目を見ていくと、売上高DI値はマイナス

37で前月比17ポイントの悪化、販売価格DI値はマイナス3で前月比1ポイントの悪化、収益状況DI値はマイナス27で前月比13ポイントの悪化、資金繰りDI値はマイナス5で前月比3ポイントの悪化、雇用人員DI値はマイナス11で前月比4ポイントの悪化となった。

コメントを見ると、製造業では、「今までは主力商品とされていなかった樹種が多数高額で取引されたことが好調の理由。(銘木)」などプラスの内容が報告された一方で、「組合員企業のアンケート調査によると可児工業団地の景況感は今年に入ってから好転と悪化が交錯する結果が続いていたが、6月に入って悪化傾向が顕著となった。団地全体の使用電力量は前年同月比5.6%減と21か月ぶりのマイナス。(可児工業団地)」などマイナスの内容が報告された。

非製造業では、「各エリア学校空調更新工事を始めた官庁関連の仕事が増えた。(電設資材卸)」などプラスの内容が報告された一方で、「陶磁器卸は引き続き低調に推移している。明るい話題は乏しい。陶磁器メーカーで倒産が出るなど業界全体が厳しい状況。(陶磁器卸)」、「景況の悪化の要因は、工作機械等の設備投資に陰りが出てきたためである。米中貿易摩擦の激化の影響が出始めてきた。製造業を中心に新たなチャイナリスクが懸念される。拠点の国内回帰や東南アジアへの移設など中国依存からの脱却は、機械工具商業界でも今後の重要なテーマの一つとなると思われる。(機械・工具販売)」などマイナスの内容が報告された。

<主な調査項目での動向>

6月次景況	
項目	DI値
景況	-37(-17)
売上高	-37(-17)
販売価格	-3 (-1)
収益状況	-27(-13)
資金繰り	-5 (-3)
雇用人員	-11 (-4)

カッコ内は前月比増減ポイント

あり、特に食料品、繊維・同製品、窯業・土石、卸売業、商店街、運輸業の区分で多かった。

【販売価格の動向】

販売価格DI値マイナス3、前月比1ポイントの悪化。
販売価格が上昇した業種は6業種(前月比-1業種)あり、製造業の牛乳、燃糸、縫製(既製服)、銘木、特殊紙、陶磁器(工業)である。
販売価格が低下した業種は8業種(前月比-1業種)であった。

【売上高の動向】

売上高DI値マイナス37、前月比17ポイントの悪化。
売上高が増加した業種は6業種(前月比-8業種)あり、製造業では銘木、東濃ひのき、非製造業では、電設資材卸、理容・美容業、土木(岐阜地区)、電気工事である。
売上高が減少した業種は32業種(前月比+4業種)

【収益状況の動向】

収益状況DI値マイナス27、前月比13ポイントの悪化。
収益状況が好転した業種は3業種(前月比-3業種)あり、製造業では銘木、非製造業では、電設資材卸、木造建築である。
収益状況が悪化した業種は22業種(前月比+6業種)であり、特に食料品、繊維・同製品、卸売業の区分で多かった。

【資金繰りの動向】

資金繰りDI値マイナス5、前月比3ポイントの悪化。
資金繰りが好転した業種は0業種(前月比-2業種)であった。
資金繰りが悪化した業種は4業種(前月比+1業種)であった。

【雇用人員の動向】

雇用人員DI値マイナス11、前月比4ポイントの悪化。
雇用人員が増加した業種は3業種(前月比-1業種)あり、製造業では、米菓、刃物等金属製品(内需)、可児工業団地である。
雇用人員が減少した業種は11業種(前月比+2業種)であった。

県内中小企業

(6月末調査)

主要業種の景気動向

製 造 業		前年同月比						
区 分	業 種	売 上 高	販 売 価 格	収 益 状 況	資 金 繰 り	雇 用 人 員	景 況 感	
食 料 品	牛 乳	△	○	△	△	△	△	
	食 肉 (国 産)	▲	△	▲	△	△	▲	
	菓 子	▲	△	▲	△	△	▲	
	米 菓	△	△	△	△	○	△	
織 維 ・ 同 製 品	製 麵	▲	△	▲	△	△	△	
	擦 糸	△	○	△	△	△	△	
	ニ ッ ト 工 業	▲	△	▲	△	△	▲	
	毛 織 物	▲	△	▲	△	△	▲	
木 材 ・ 木 製 品	合 成 織 維 織 物	△	△	△	△	△	△	
	メ ン ズ ア パ レ ル	▲	△	▲	△	△	▲	
	婦 人 ・ 子 供 服	▲	△	▲	△	△	▲	
	縫 製 (既 製 服)	▲	○	▲	△	▲	▲	
紙 紙 加 工 品	製 材	△	△	△	△	△	△	
	銘 木	○	○	○	△	△	△	
	家 具	▲	△	△	△	△	▲	
	東 濃 ひ の き	○	△	△	△	△	△	
印 刷	機 械 す き 和 紙	△	△	△	△	▲	△	
	特 殊 紙	△	○	△	△	△	△	
	紙 加 工 品	△	△	△	△	△	△	
化 学 ゴ ム	印 刷	▲	△	▲	△	△	▲	
	プ ラ ス チ ッ ク	▲	△	△	△	△	△	
	窯 業 ・ 土 石	陶 磁 器 (工 業)	▲	○	▲	△	△	▲
		タ イ ル	▲	△	▲	△	△	▲
窯 業 原 料		▲	△	△	△	△	△	
石 灰		▲	▲	▲	△	△	▲	
生 コ ン ク リ ー ト		△	△	△	△	△	△	
砂 利 生 産		△	△	△	△	△	△	
鉄 鋼 ・ 金 属	碎 石 生 産	▲	△	△	△	△	△	
	鑄 物	▲	△	△	△	△	▲	
	刃 物 等 金 属 製 品 (輸 出)	△	△	△	△	△	△	
	刃 物 等 金 属 製 品 (内 需)	△	△	△	△	○	△	
一 般 機 械	メ ッ キ	△	△	△	△	△	△	
	県 金 属 工 業 団 地	△	△	△	△	▲	▲	
	可 児 工 業 団 地	▲	▲	▲	▲	○	▲	
輸 送 用 機 器	金 型	△	△	△	△	△	△	
	輸 送 用 機 器	△	△	△	△	△	△	

非 製 造 業		前年同月比					
区 分	業 種	売 上 高	販 売 価 格	収 益 状 況	資 金 繰 り	雇 用 人 員	景 況 感
卸 売 業	電 設 資 材 卸	○	△	○	△	△	○
	陶 磁 器 産 地 卸	▲	△	▲	△	▲	▲
	機 械 ・ 工 具 販 売	▲	▲	▲	△	△	▲
小 売 業	青 果 販 売	△	△	△	△	△	△
	水 産 物 商 業	▲	△	△	△	△	▲
	家 電 機 器 販 売	△	△	△	△	△	△
	メ ガ ネ 販 売	△	△	△	△	△	△
	中 古 自 動 車 販 売	△	△	△	△	▲	△
	石 油 製 品 販 売	▲	▲	△	△	▲	△
	共 同 店 舗 (飛 騨)	▲	△	△	△	△	△
	生 花 販 売	▲	▲	▲	▲	△	▲
商 店 街	岐 阜 市 商 店 街	▲	▲	△	△	△	▲
	大 垣 市 商 店 街	△	△	△	△	△	△
	高 山 市 商 店 街	▲	△	▲	△	△	▲
サ ー ビ ス 業	自 動 車 車 体 整 備	△	△	△	△	△	▲
	長 良 川 畔 旅 館	▲	△	▲	▲	▲	▲
	下 呂 温 泉 旅 館	△	△	△	△	△	△
	高 山 旅 館	▲	△	▲	△	▲	▲
	ク リ ー ニ ン グ	△	△	△	△	△	△
	広 告 美 術	△	▲	▲	△	△	▲
	旅 行 業	△	△	△	△	△	△
	理 容 ・ 美 容 業	○	△	△	△	△	△
建 設 業	土 木 (岐 阜 地 区)	▲	△	△	△	△	△
	土 木 (飛 騨 地 区)	○	△	△	△	▲	△
	建 築 設 計	△	▲	▲	▲	△	△
	鉄 構 造 物	△	△	△	△	△	△
	電 気 工 事	○	△	△	△	▲	△
	管 設 備 工 事	△	△	△	△	△	△
	建 築 板 金	△	△	△	△	△	△
	室 内 装 飾	△	△	△	△	△	△
運 輸 業	木 造 建 築	▲	△	○	△	△	△
	貨 物 運 送 (岐 阜 地 区)	▲	△	▲	△	▲	△
	軽 運 送	▲	△	△	△	△	▲
其 他 の 非 製 造 業	貸 植 木 業	△	△	△	△	△	▲

凡 例 ○ : [増加]、[上昇]、[好転]
 ▲ : [減少]、[下降]、[悪化]
 △ : [不変]



全国の先進組合事例を収集した「先進組合事例抄録（平成30年度組合資料収集加工事業報告書）」より抜粋して紹介します。先進組合事例抄録は、過去のものを含め、全国中央会のホームページ上で「組合事例検索システム」として公開していますので、ぜひご利用ください。【組合事例検索システム】<http://jirei.chuokai.or.jp/newjirei/>

大分県コンクリート製品協同組合

九州エリア初、システム導入による共同販売の事業革新

主な業種	コンクリート2次製品の製品及び販売				
住所	大分県大分市新栄町10-25新貝ビル2階				
URL	-		電話	097-556-1310	
設立	昭和53年7月	組合員	12人	出資金	18,000千円

■ 背景・目的

コンクリート2次製品に係る全国的な発注減や災害などの影響による受注量の減少など、経営環境が変化する中、組合ならびに組合員の経営強化を図るには、さらなる売上の確保のため、平成25年度から取り組んでいる共同販売事業の拡大は不可欠であった。これには、共販製品の拡張が必須であるが、手作業で行っていた受注から請求までの事務処理作業の増加に伴い、少人数体制の事務局では限界が見えていた。このため、ITを活用した生産性の向上への取組みが喫緊の課題となっていた。

■ 取り組みの手法と内容

共同販売事業にネットワークシステムを導入し、工事の進捗に伴って発生する注文数量や納期等の変更に係る関係伝票作成などの作業について的大幅な軽減が図られた。また、受注に関するコンクリート製品量や金額を組合と各組合員社の間で、リアルタイムに掌握できるという情報の同期化への取組みが実現することとなった。

システム導入にあたり、組合員社12社のデータ入力責任者を

招集して、説明会、検討会を2回実施し、問題点の抽出を行った結果、各組合員社の使用しているシステムやカスタマイズのレベルもバラバラであったため、データ形式の違いによって、想定以上の問題点が抽出された。このため、データ集約について詳細の検討が必要になった。そこで、入力作業システムを熟知した担当者のいる組合員企業3社によるプロジェクトチームを編成し、システム運用上で発生する具体的な問題の洗い出しと解決策の検討を行った。結果については毎週1回実施する共販委員会（各組合員社の部長級の社員で構成）で報告し、月1回開催の理事会でその都度承認を得ながら進捗させていった。最終的にプロジェクトチームの3社が中心となり、全体説明会を行って、合意形成を図った。

■ 成果とその要因

システム導入の大前提となる共同販売に向けた意識の統一が、平成25年に確立されており、組合員全員で実施する意識ができていたことが成果の要因といえる。また、導入段階では、必要データの絞り込み、システム運用面で先行している組合員社3社のプロジェクトチームが、全体の合意形成を牽引したことが、本稼働につながっている。

！ キーファクター

理事会を含めた組合内における危機感や事業に対する合意形成の強さ、事務局のサポート力の高さが、事業実現のキーファクターとなっている。

協業組合笠岡車検センター

環境変化に伴うニーズに対応した組合事業の再構築

主な業種	自動車整備業				
住所	岡山県笠岡市小平井2255-1				
URL	-		電話	0865-63-3113	
設立	昭和48年5月	組合員	5人	出資金	16,000千円

■ 背景・目的

コンピュータが内蔵されたハイテク車両や介護事業拡大による大型特殊車両の増加などから、既存顧客以外のユーザーへの取組みを強化し、車検・整備サービスの高品質化を図るとともに、新たに設備を導入することで技術革新を促進。内製化を高めることで短納期整備を実現して組合及び組合員企業の安定経営を図る。

■ 取り組みの手法と内容

新しい作業工程を構築するため新しい設備を導入。安全かつ安心できる作業環境を目指し、従来の課題であったリフト昇降時間の短縮と手作業工程の大幅削減による最適人員の配置に取り組んでおり、新工程と合わせて、自動車整備部門の技術力向上に向けた人材教育を展開し、機械メーカー等の協力を得ながら、現場整備士等に対して機械操作方法等の技術指導を実施している。

また、組合が持つ長年の自動車整備技術と最新設備を融

合させた「地域密着型整備工場」をさらに向上し、各種自動車ユーザーが求める自動車整備サービスを既存組合員と情報共有することで、組合員企業の提案営業力を強化。新規顧客拡大を図り、組合・組合員双方の売上拡大、収益確保を目指している。

事業遂行においては、理事長、工場長、事務局がそれぞれ役割を分担し、強いリーダーシップのもと組合員の意識改革を進めることで、時代に即した組合活動を強化して売上・収益率向上に繋げている。

■ 成果とその要因

「組合と組合員の共存・共栄」を目的として、顧客に安心・安全な整備サービスを提供して、自動車整備技術の高度化と自動車整備の効率化を図り、内製化を高めることが組合の安定経営に結び付いている。さらに、中央会をはじめとする認定支援機関の支援を得ながらニーズや環境の変化に対していち早く取り組んでおり、事業承継が円滑に進んでいることが成功要因である。

！ キーファクター

環境変化に迅速に対応し、理事長をはじめとする役割分担の明確化により組合員の意識改革を進め、中央会をはじめとする認定支援機関の強力な支援が大きい。

春の叙勲・褒章、県の各界功労者表彰

2019年『春の叙勲』について、5月21日に受章者が発表されました。また、県の産業経済の発展等に功績のあった方に贈られる『各界功労者表彰』の受賞者に90人と7団体が選ばれ、5月28日に表彰式が行われました。心からお祝い申し上げます。なお、中央会関係者の方は以下のとおりです。

叙勲 加藤孝義氏＝ファームネット岐阜協同組合・理事長(岐阜花き流通センター農業協同組合会長)
 【旭日双光章】 松原光好氏＝岐阜県鑄物工業協同組合・元理事長(中央会・元常任理事)
 高橋政志氏＝岐阜県医薬品小売商業組合・副理事長

県功労者 浅野宏治郎＝岐阜県毛織物工業協同組合・理事長(中央会・元常任理事及び理事)
 【産業経済】 鈴木良春氏＝日本輸出刃物工業組合・元理事長(現理事)、協同組合岐阜県刃物会館・理事

会員組合からの声“中小企業ぎふ” 5月25日発行号のアンケートより

【面白かった記事】

- ・クローズアップ企業
- ・組合紹介、業界豆知識
- ・令和にちなんだ組合活動の紹介
- ・組合等の活動

【会報誌の感想】

- ・クローズアップ企業は読むだけで取材対象者の方を身近に感じることのできる良いインタビューであり、構成も良いと思います。
- ・クローズアップ企業(有)イークラフト様の座右の銘に共感いたします。
- ・会報で中央会の皆様の座右の銘を教えてください。
- ・中央会の活動に掲載されている職員の方々の写真が小さい。組合事務局の方々は中央会の職員の方々の顔が見たいそうです。
- ・どの組合さんもいろいろな“ものづくり”に多彩な知恵を絞ってがんばっておられることが、この冊子で本当に良く表れています。特に6ページの記事は“令和”にちなんだ内容となっていて面白かったと思います。

【中央会へのご意見、メッセージ】

- ・会報誌を多くの方にご覧いただけるような工夫をお願いしたいです。
- ・幣組合は異業種集合の組合のため、全てが共通していませんが、出来る限り共通する話題を探すお手伝いを、今後もよろしくご指導ください。
- ・いつも些細な質問にも快く返答していただき、本当に感謝しております。次回も楽しみにしています！

★読者プレゼントコーナー★

アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で5名様に下記商品をプレゼントいたします。

皆様からいただいたご意見を元に、今後も「役立つ」会報誌を目指していきたいと思っておりますので、ふるってご応募いただけますようどうぞよろしくお願い致します。

美濃和紙ブランド協同組合

(株式会社松久永助紙店)

【美濃和紙フェイスタオル】

美濃和紙を細くスリットし、撚糸することにより強度をもたせ、和紙独自の特徴を活かしたエコロジカルな素材の和紙タオルです。和紙は吸水性に優れ、消臭効果があり、天然素材の和紙製品ならではの程好い硬さがマッサージ効果を発揮します。

5名



【アンケート】

タイトルに「会報誌プレゼント(7/25号)」とご記載ください。

- ①お名前
- ②住所・電話番号
- ③所属組合・企業
- ④今号で面白かった記事
- ⑤中央会へのご意見(会報誌へのご意見や取材のご依頼等もぜひお知らせください)

【応募先】岐阜県中央会 会報誌担当

メール kouhou@chuokai-gifu.or.jp 又は
FAX 058-273-3930

【応募締切】2019年8月19日(月)

※プレゼントの当選は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

新企画

職員コラム

中央会職員が交代で
徒然なるままに綴ります。

本年より7月20日を「中小企業の日」。そして7月の1ヶ月間を「中小企業魅力発信月間」とすることとなった。7月20日は、中小企業基本法の公布・施行日であることから、それに因んだ日としたという。また、新たにロゴマークも制定された。

本誌がお手元に届く時には、「中小企業の日」も過ぎ、「中小企業魅力発信月間」も終わりを迎えるようとしているが、2020年以降も毎年、同日・同期間を実施すること。

毎年といえば、全国中小企業団体中央会と開催県の中央会が主催し「中小企業団体全国大会」が行われる。今年は71回目を迎え、11月7日(木)に鹿児島県の「鹿児島アリーナ」において開催される。現在、参加される組合等を募っております。是非、ご参加頂きたいと思っております。

全国大会は、全国の組合の代表者等が一堂に集まり、国等に対して更なる中小企業振興を訴え、中小企業の要望事項を決議する。

岐阜県においても昭和46年と平成7年の2回行った。

その全国大会で必ず歌う歌がある。それが「中小企業団体の歌」。「国の礎 中小企業 精神(こころ)は一つ 団結の」で始まる。

少し古めかしい感じがするが、中小企業が国の礎と自負し、相互扶助の精神による組合活動が重要だと高らかに謳う。

新元号「令和」は、「美しい調和」との意味がある。「仲良きことは美しきかな」とは、武者小路実篤の名言である。

令和の時代に入って、岐阜県の中小企業組合が相互扶助の精神のもと、更なる発展を期するのが中央会の使命であり、祈りである。



事務局長
大沼 浩宣



商工中金の 中小企業組合支援

個々の企業では解決できないさまざまな課題に、連携して対応する中小企業組合。商工中金は、1936年の設立以来、一貫して組合・組合員の価値向上に取り組んでいます。これまでも、これからも、商工中金は、組合運営のフォローや補助金等の情報提供、ご融資を通じて、組合が手がけるさまざまな共同事業の円滑な発展をサポートしていきます。

商工中金は、経営の総合支援パートナーへ。

個人のお客さま向けの定期預金です。

有利な金利設定
(当金庫内比較)

固定金利の半年複利
(元本保証)

1年、2年、3年から
期間が選べる

\\ 安心、確実、お得に増やす //

定期預金 **マイハーベスト**

岐阜支店 058(263)9191 〒500-8828 岐阜市若宮町9-16

高山営業所 0577(32)3353 〒506-0025 高山市天満町5-1

<https://www.shokochukin.co.jp/>

商工中金

検索

人を思う。未来を思う。
商工中金

この広報誌は岐阜県からの助成を受けています。